

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	システムリサーチ	
科目基礎情報							
開設学科	ITスペシャリスト科		コース名	システム専攻		開設期	後期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する						
担当教員情報							
担当教員	大野田 和弘			実務経験の有無・職種	有・システムコンサルタント		
学習目的							
この科目を受講する学生は、ビジネス社会に与える影響を鑑みて、未来への提言力を養うことができる。21世紀はIT化、グローバル化が進展し、情報が瞬時に共有化され、多様な価値観がぶつかり合い融合する時代である。その中で、わが国の企業は、創造的な製品、サービスを供給することでグローバルに展開される競争を勝ち抜いていかなければならない。急速なIT化、グローバル化によりどのようなサービスやシステムが生み出されているか理解し、創造的な製品、サービスを生み出す能力を身に付ける。							
到達目標							
この科目では、学生がICTシステムに関する動向をリサーチし、ビジネス社会に与える影響を鑑みて、未来への提言力を養成する。未来のICT・メディア市場、デバイス市場、ネットワーク市場、コンテンツ配信市場、プラットフォーム市場、xTech市場などの各ICTに関わる市場においてどのようなサービスが生み出されているのか理解できることを目標にしている。昨今、ビジネスの世界では「デジタル変革」という言葉を見ない日はない。いよいよ、あらゆる活動がネットに接続している前提、そして、ソフトウェアで書かれている前提になっていることの証左である。							
教育方法等							
授業概要	私達の身の回りにあるICT関連のシステムについて調査・研究し、発表することによって相互理解を深める。それらをもとに、将来期待されるICTシステムについて提言を加える。調査・研究の際は、全般的なトレンド情報収集の考え方を整理の仕方、代表的な参考情報源(Webサイト・文献)を紹介する。						
注意点	この授業では、普段の授業態度や提出課題を重視する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。自分でも、情報を収集し、最新のICTシステムに関する動向について調べる。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回)							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	2023年ICT・メディア市場(1)			2023年ICT・メディア市場を理解できる /宇宙ビジネス/シェアリングエコノミー			
2回	2023年ICT・メディア市場(2)			2023年ICT・メディア市場を理解できる /APIエコノミー/パーソナルデータ			
3回	デバイス市場(1)			デバイス市場を理解できる /携帯電話端末/4Kテレビ			
4回	デバイス市場(2)			デバイス市場を理解できる /VR/音声エージェント端末			
5回	デバイス市場(3)			デバイス市場を理解できる /ドローン/3Dプリンター			
6回	ネットワーク市場			ネットワーク市場を理解できる /固定ブロードバンド回線/モバイル・ワイヤレスブロードバンド			
7回	コンテンツ配信市場(1)			コンテンツ市場を理解できる /ゲーム/動画配信			
8回	コンテンツ配信市場(2)			コンテンツ市場を理解できる /音楽配信/放送・メディア			
9回	プラットフォーム市場(1)			プラットフォーム市場を理解できる /クラウドサービス/情報セキュリティ			
10回	プラットフォーム市場(2)			プラットフォーム市場を理解できる /クラウドサービス/IoT			
11回	プラットフォーム市場(3)			プラットフォーム市場を理解できる /ブロックチェーン/RPA			
12回	xTech市場(1)			xTech市場を理解できる /金融/小売			
13回	xTech市場(2)			xTech市場を理解できる /広告/食品			
14回	xTech市場(3)			xTech市場を理解できる /教育/スポーツ			
15回	xTech市場(4)			xTech市場を理解できる /人事/農業/ヘルスケア			